

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-373-6600

年度	平成29年度		
施設名	重要文化財旧笹川邸住宅	所管部・課	南区役所地域課
施設の設置目的	旧笹川家住宅を活用し、味方地区の歴史資料、民俗資料、その他の資料を保存し、及び公開することにより、市民の歴史及び文化に対する認識を深めるとともに、市民文化の向上に努めます。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H29.7.12
歳入	2,365	正職員		修正日	
歳出	8,703	非常勤	1	評価日	H30.6.24

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	市民	ボランティアガイドの情報交換の徹底	月1回の情報交換会を行い笹川邸に関する新しい情報の発掘に努め	10回	10回	10回	10回	10回	ガイド業務中に新しい発見や、情報を得ることがあるので、その知識の共有を行う。	情報交換会議を目標どおり実施し、目標を達成できました。	B:達成	
2	市民	入館記念として、笹川邸のマスコットグッズ”ささたん”（笹団子のミニチュア）を作成し、入館者に記念品として”ささたん”を1人1個配布する。	入館者に記念品として”ささたん”を1人1個配布する。	約5,400人に配布	約6,500人に配布	約5,500人に配布	約5,600人に配布	約5,050人に配布	記念品の”ささたん”を媒体に笹川邸のPRを進め、入館者の拡大も図る。	入館者が前年度より661人減少したため、目標達成みは至りませんでした。	C:未達成	
3	財務	歳入の増加	年間使用料収入2,500千円以上	2,123,600円	2,516,800円	2,527,700円	2,390,000円	2,174,100円	イベントの実施等により前年度並みの使用料収入を維持する。	区づくり事業「来てきて笹川邸」によるイベント実施や南区PR大使を活用した広域的なPRの実施	入館者が前年度より661人減少したため、目標達成みは至りませんでした。	C:未達成
4	業務	防火訓練の実施	国の重要文化財である「笹川邸」の防火対策を強化する。	年2回	年1回	年3回	年2回	年2回	文化財防火デーに伴う消防訓練と併せて初期消火の訓練を行い、初動体制のさらなる強化に努める。	文化財防火デー消防訓練 南消防署の立入検査時の訓練	9月と1月に予定どおり実施し、目標達成できました。	B:達成
5	人材	情報の共有化と人材育成	地域課との打合せ会議、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修など年3回以上実施。	—	—	年11回	年8回	年8回	臨時職員にもコンプライアンス等の研修を実施するとともに、所管課である南区地域課と情報交換会議を行う。	情報交換会議、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修など	研修や情報交換会議などを実施し、目標回数を達成できました。	B:達成
6												
7												
8												
9												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価（評価を踏まえた課題分析・方向性など）
<p>当施設は、新潟市が所有する唯一の国指定重要文化財であり、7年の歳月をかけて文政9(1825)年に再建されたもので、敷地面積が14,252.24㎡、すべての施設の延べ床面積が1,869.57㎡ある大庄屋の役宅兼住居であり、その取扱いには細心の注意が必要な施設として、今後も維持管理を行い、江戸時代の建築物を大勢の人から見てもらう目標設定しています。</p>	<p>ボランティアガイド15名体制で団体入館者を中心に説明を行い、新人ガイドにも実践を体験してもらったことは、次年度に向けて大きな成果であった。 旧笹川家住宅の入館者は前年と比して661人の減少となってしまった。今後も地元コミ協や地域課をはじめ関係機関とも連携し、誘客に結び付く事業展開を行っていきます。 また、独自でのアンケート調査をおこなっており、そこで得られた貴重な意見も参考にしながら、入館者増の増加になるよう取り組みます。 今後は、ボランティアガイドのスキルアップに努め、来館者から喜んでもらえる体制づくり(おもてなし体制の構築)についても、ボランティアの皆さんと協議していきます。 国指定重要文化財の建造物としては唯一、市の所有でもある旧笹川家住宅の価値をPRするとともに、火災による消失が発生しないよう職員一丸となって文化財保護に取り組んでいきます。</p>